

報告者 部会長 ものづくりスペースみんななかま 竹内 仁

日 時 2013年7月4日(木)

場 所 城陽市福祉センター 第2会議室

出席者 (有)ファンシステム(1名)、(株)EL-LISTON(1名) 庭一造園(1名)、(株)ナプラス(1名)
就労促進授産支援ネットワーク(1名)、宇治支援学校(1名)、あんびしゃ(2名)、魁(1名)、
はびねす(1名)、あっぷ(1名)、城陽作業所(1名)、野の花(1名) みんななかま(3名)
(参加者数16名)

オブザーバー 福祉課(1名<オブザーバー>)

欠席者 宇治支援学校(1名)

検討課題

1、福祉情勢・就労に関わる情報の共有。2、福祉事業所フェア実施に向けて、3、2013年度就労部会の取り組み

【議事録】

1、福祉情勢・就労に関する情報の共有

・山城北圏域就労部会

*6月21日、八幡支援学校の見学と授業の特徴などの説明会が行われた。

*8月22日、八幡支援学校の先生と構成員で交流会が行われます。

2、福祉事業所フェア実施に向けて

・福祉事業所フェア実施に向けての進捗状況。

*1部の講演への依頼。

①株式会社アクスへ依頼中。家族、在校生、福祉職員が対象なので、工場長へ依頼する方向。

*2部の発言者への依頼状況。

①宇治支援学校卒業生の企業就労者に依頼済み。シフトとの関係で休みが取れば出席可。

*チラシの状況。

①7月中旬頃(学校夏休み前)、第1次ビラを配布予定。

②京都中小企業家同友会南部地域会と連携。金銭面での協力は厳しいけど、人的協力は可能。要望等言ってもらえたら力になれるとのこと。

③山城北圏域就労部会も共催で実施していく。

3、2013年度の取り組みとして

・就労の幅を広げるイメージづくりと、具体的な取り組み。

*企業就労を目指している障がい者の事例検討。(あんびしゃ、魁、城陽作業所、野の花、みんななかまの通所者から選定)

*「障がい者が企業で働くためには、どんな力が必要か」ではなく、障がい者と一緒に働くということは、どういうことかを考えていきたい。実際にあった企業の具体例として、一緒に働くことで職員の意識が変わる、職場の雰囲気が変わる等。こういった事例を他企業に伝え広げる。また、そのことを土台に福祉事業所と連携を築いていく。

*一般企業と福祉事業所が互いを知っていくことを目的に、見学会等を実施し、連携のきっかけにしていく。